

平成29年度 事業計画

国のスポーツ振興の根幹となる「スポーツ基本法」が施行され、野外活動及びスポーツ・レクリエーション活動の普及奨励の中で、「心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現等のために行われる野外活動及びスポーツとして行われるレクリエーション活動を普及奨励するため、野外活動又はスポーツ・レクリエーション活動に係るスポーツ施設の整備、住民の交流の場となる行事の実施、その他の必要な施策を講ずるよう努めなければならない」としている。

日本は世界一の平均寿命を誇る。寿命が長ければよいのではなく、生き生きと健康に活動できる健康寿命を延伸することこそ大切なのである。

そのためにはレクリエーションの果たす役割は非常に大きい。

レクリエーション活動はお年寄りが多いといわれるが、レクリエーション活動をしてきたからこそみんな元気で年を取っても生き生きと活動できているのである。勿論、次世代を担う青少年の人格の形成に大きな影響を与え、高齢者にとっての生きがいであり、障害を持つ人も持たない人も自主的かつ積極的に取り組める活動である。

人と人との交流及び地域間の交流を促進し、地域とのきずなや一体感を醸成するものであり、地域社会の再生に寄与するものである。当協会としてもこれらを認識しさらなるレクリエーション活動の活性化と振興を図らなければならないと考える。

1. 基本方針

○ 「かながわレクリエーション大会」・「出前イベント」等の開催を通して、障害のある人もない人も気軽に体を動かし、レクリエーションの楽しさを味わい、様々な世代の人々が、地域や豊かな自然の中で、仲間との交流を深め、日常的に手軽に楽しめるレクリエーション活動を推進します。

○ 市区町村(生涯スポーツ・福祉・高齢者)担当課、学校、幼稚園・保育園、高齢者施設、福祉施設等へ「公認指導者派遣事業」の情報発信により、県民のレクリエーション活動を支える公認指導者(レクリエーション運動の担い手)の積極的な活用を促し、指導者の人材育成を支援します。

○ 県レクリエーション協会加盟団体等との連携・協力を一層強化し、子どもから高齢者や障害のある人もない人も対象にした体力づくりへの支援や仲間づくり等交流イベントへの指導者派遣に取り組み、気軽に楽しめるレクリエーションやニュースポーツへの参加促進・交流を推進します。

また、レクリエーション「友の会」の会員を募り、レクリエーション愛好者の交流の輪を広げていきます。

2. 重点目標

(1) かながわレクリエーション大会を通して、参加団体と連携・協力し、障害のある人もない人も気軽に体を動かし楽しめる大会として、また県レク協会の特色ある大会として創意工夫し実施する。

(2) 「レクリエーション指導者派遣事業」への指導者派遣実績・成果を生かし、高い専門性を持った公認指導者を育成・支援する。

(3) 「出前イベント」等の協働事業を通して、市町村レク協会・種目協会等との連携促進を図り、地区町村協会の立ち上げ、育成を支援する。

(4) 専門委員会事業評価シートを作成し、各委員会で計画(plan)・実行(do)・評価(check)・改善(act)のプロセスを取り入れ各委員会活動の活性化を進める。

(5) レクリエーション「友の会」会員を募り、レク愛好者の交流の輪を広げる。

(6) 広報誌「スコレ」や「ホームページ」を活用し、情報発信の強化を推進する。

(7) 県レク協会60周年記念誌の発行により、これまでの本県レク活動を広く県民に周知する。

(8) 財源確保の方策を引き続き検討し、財源基盤の整備と事務局体制の充実を図る。